

事務事業名	老人クラブ活動支援事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	高齢者福祉G	課長名	中島 豊
施策名		(18)高齢者福祉の充実	担当者名	鳥谷 周史	電話番号(内線)	0854-40-1042
基本事業名		(051)社会参加活動の促進	予算科目	11503005	中事業	3619

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	高齢者の自主的社会的活動を助長し、健全で豊かな老後の生活の充実を図ることを目的とし、老人クラブ連合会が行う・活動促進事業・健康づくり介護予防事業・地域支え合い事業・若手高齢者組織化活動支援事業に補助金を交付する。	高齢者の社会活動の推進と豊かな老後生活を支援するため、合併前から各町村ごとに老人クラブ連合会の活動及び運営を助成してきた。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費総額:12,000千円 うち補助金12,000千円	事業費	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円	3,248	3,198	2,890	2,890	2,890	
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	8,752	8,802	9,110	9,110	9,110	
			事業費計(A)	千円	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	・補助金交付申請書受理、審査・補助金交付決定・補助金概算払(50%)請求書受理、支払・翌年度事業についてヒヤリング・概算払(100%)請求書受理、支払・実績報告書受理、審査、確定	人件費	正規職員従事人数	人	6	3	3			
			延べ業務時間	時間	680	680	680			
			人件費計(B)	千円	2,594	2,644	2,681	0	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	14,594	14,644	14,681	12,000	12,000	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤活動指標							
	補助金交付申請書受理、審査、交付決定、支払・実績報告書受理、審査、確定	ア 老人クラブの事業費	千円	15,651	15,039	15,155	15,155	15,155	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 補助金額	千円	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
	前年度と同じ。	ウ							
		エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	60歳以上の高齢者	⑥対象指標							
	ア 高齢者数(60歳以上)	人	17,503	17,617	17,707	17,707	17,707		
	イ 高齢者数(65歳~74歳)	人	5,466	5,075	5,088	5,088	5,088		
上位目的	③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標							
	自主的社会的活動を助長し、健全で豊かな老後の生活の充実を図る。	ア 老人クラブ連合会への加入率(会員数/対象者(65歳以上))	%	53.34	49.29	47.27	47.27	47.27	
	イ 会員数	人	7,462	6,782	6,510	6,510	6,510		
	ウ								
	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
	生きがいを持って、いきいきと暮らす。	ア いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	65.1	70.1	67.4	67.4	67.4	
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
老人クラブ活動の中心的役割を担う65歳~74歳の前期高齢者の割合が年々減少し、会員数拡大が難しくなっている。	特になし。	老人クラブ連合会からは、生きがい対策及び介護予防の観点から事業の継続と補助金の確保を強く要望されている。

事務事業名	老人クラブ活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 老人クラブの地域を豊かにする活動や健康づくり活動などを通して、健全で豊かな老後の生活の充実を図ることが出来る。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 老人クラブの地域を豊かにする活動や健康づくり活動を通し、生きがいを持って生活してもらうことで、健康で明るい長寿社会の実現につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 老人クラブは60歳以上の高齢者であれば誰でも加入できる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 60歳以上の高齢者のうち、老人クラブへの加入している割合は50%を切っている。加入率を引き上げることで、より多くの高齢者が自ら活動することにより生きがいをもって生活できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 老人クラブ連合会の解散を促す要因となり、閉じこもる高齢者が増加し身体機能の低下につながる恐れがある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の事業は無い。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 会員数の減少が続く中では難しいが、特に体制強化などにつながる事業に絞った補助にする等、有効性を重視した内容に変更し全体的に削減する。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託や臨時職員で対応できる団体ではない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 老人クラブへの加入は平等であるが、高齢者のうち加入している者は半数であり、半数の高齢者には補助金の恩恵がない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	老人クラブ連合会の活動は、健全で豊かな老後の生活の充実を図ることに貢献しているが、今後補助金をより効果が得られる事業(経費)に活用できるよう検討していく必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 補助金をより有効活用するため加入率の増を目指す事業を検討していく。																								